

診療科名

皮膚科

当該診療科の研修期間中に

○ ほぼ経験できる

△ 症例によっては経験できる

研修期間
2ヶ月 4ヶ月以上

基本的な身体診察法

1)全身の観察(バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む)	○	○
2)頭頸部の診察(眼瞼・結膜、眼底、外耳道、鼻腔、口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む)	△	△
3)胸部の診察(乳房の診察を含む)		
4)腹部の診察(直腸診を含む)		
5)泌尿・生殖器の診察(産婦人科的診察を含む)		
6)骨・関節・筋肉系の診察	△	△
7)神経学的診察	△	△
8)小児の診察(生理的所見と病的所見の鑑別を含む)	△	△
9)精神面の診察		

基本的な臨床検査

【受持患者の検査として診療に活用すること、(A)については自ら実施できること】

1)一般尿検査(尿沈渣顕微鏡検査を含む)※	○	○
2)便検査(潜血、虫卵)※	○	○
3)血算・白血球分画※	○	○
4)血液型判定・交差適合試験(A)※	○	○
5)心電図(12誘導)(A)※	○	○
6)動脈血ガス分析(A)※	○	○
7)血液生化学的検査※	○	○
8)血液免疫血清学的検査(免疫細胞検査、アレルギー検査を含む)※	○	○
9)細菌学的検査・薬剤感受性検査※	○	○
10)肺機能検査※	△	△
11)髄液検査※	△	△
12)細胞診・病理組織検査	○	○
13)内視鏡検査※		
14)超音波検査(A)※	△	○
15)単純X線検査※	△	△
16)造影X線検査	△	△
17)X線CT検査※	△	△
18)MRI検査	△	△
19)核医学検査		
20)神経生理学的検査(脳波・筋電図など)		△

基本的手技

【自ら行った経験があること】

1)気道確保※		
2)人工呼吸(バックマスクによる徒手換気を含む)※	△	△
3)心マッサージ※	△	△
4)圧迫止血法※	○	○
5)包帯法※	○	○
6)注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保)※	○	○
7)採血法(静脈血、動脈血)※	○	○
8)穿刺法(腰椎)※	△	△
9)穿刺法(胸腔、腹腔)		
10)導尿法※	○	○
11)ドレーン・チューブ類の管理※	○	○
12)胃管の挿入と管理※	△	△
13)局所麻酔法※	○	○
14)創部消毒とガーゼ交換※	○	○
15)簡単な切開・排膿※	○	○
16)皮膚縫合法※	○	○
17)軽度の外傷・熱傷※	○	○
18)気管挿管※		
19)除細動※	△	△

頻度の高い症状

【自ら診療し、鑑別診断を行うこと】

- 1) 全身倦怠感
- 2) 不眠 ※
- 3) 食欲不振
- 4) 体重減少、体重増加
- 5) 浮腫 ※
- 6) リンパ節腫脹 ※
- 7) 発疹 ※
- 8) 黄疸
- 9) 発熱 ※
- 10) 頭痛 ※
- 11) めまい ※
- 12) 失神
- 13) けいれん発作
- 14) 視力障害、視野狭窄 ※
- 15) 結膜の充血 ※
- 16) 聴覚障害
- 17) 鼻出血
- 18) 嘔声
- 19) 胸痛 ※
- 20) 動悸 ※
- 21) 呼吸困難 ※
- 22) 咳・痰 ※
- 23) 嘔気・嘔吐 ※
- 24) 胸やけ
- 25) 嚥下困難
- 26) 腹痛 ※
- 27) 便通異常(下痢、便秘) ※
- 28) 腰痛 ※
- 29) 関節痛
- 30) 歩行障害
- 31) 四肢のしびれ ※
- 32) 血尿 ※
- 33) 排尿障害(尿失禁・排尿困難) ※
- 34) 尿量異常
- 35) 不安・抑うつ

○	○
△	△
△	△
△	△
○	○
○	○
○	○
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△
△	△

緊急を要する症状・病態

【初期治療に参加すること】

- 1) 心肺停止 ※
- 2) ショック ※
- 3) 意識障害 ※
- 4) 脳血管障害 ※
- 5) 急性呼吸不全
- 6) 急性心不全 ※
- 7) 急性冠症候群 ※
- 8) 急性腹症 ※
- 9) 急性消化管出血 ※
- 10) 急性腎不全
- 11) 流・早産および満期産
- 12) 急性感染症
- 13) 外傷 ※
- 14) 急性中毒 ※
- 15) 誤飲、誤嚥
- 16) 熱傷 ※
- 17) 精神科領域の救急

△	△
△	○
△	△
○	○
○	○
○	○

経験が求められる疾患・病態

【(A)疾患については入院患者を受け持ち、症例レポートを提出すること】

(1) 血液・造血管・リンパ網内系疾患

[1] 貧血(鉄欠乏貧血、二次性貧血) (B)	○	○
[2] 白血病		
[3] 悪性リンパ腫	△	△
[4] 出血傾向・紫斑病(播種性血管内凝固症候群: DIC)	△	△

(2) 神経系疾患

[1] 脳・脊髄血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血) (A)		
[2] 認知症性疾患		
[3] 脳・脊髄外傷(頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫)		
[4] 変性疾患(パーキンソン病)		
[5] 脳炎・髄膜炎		

(3) 皮膚系疾患

[1] 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎) (B)	○	○
[2] 蕁麻疹 (B)	○	○
[3] 薬疹	○	○
[4] 皮膚感染症 (B)	○	○

(4) 運動器(筋骨格)系疾患

[1] 骨折 (B)		
[2] 関節・靭帯の損傷及び障害 (B)		
[3] 骨粗鬆症 (B)		
[4] 脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア) (B)		

(5) 循環器系疾患

[1] 心不全 (A)		
[2] 狭心症、心筋梗塞 (B)		
[3] 心筋症		
[4] 不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈) (B)		
[5] 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)		
[6] 動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤) (B)		
[7] 静脈・リンパ管疾患(深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫)		
[8] 高血圧症(本態性、二次性高血圧症) (A)		

(6) 呼吸器系疾患

[1] 呼吸不全 (B)		
[2] 呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎) (A)		
[3] 閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症) (B)		
[4] 肺循環障害(肺塞栓・肺梗塞)		
[5] 異常呼吸(過換気症候群)		
[6] 胸膜、縦隔、横隔膜疾患(自然気胸、胸膜炎)		
[7] 肺癌		

(7) 消化器系疾患

[1] 食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎) (A)		
[2] 小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻) (B)		
[3] 胆嚢・胆管疾患(胆石、胆嚢炎、胆管炎)		
[4] 肝疾患 (ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害)		
[5] 膵臓疾患(急性・慢性膵炎)		
[6] 横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア) (B)		

(8) 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)疾患

[1] 腎不全(急性・慢性腎不全、透析) (A)		
[2] 原発性糸球体疾患(急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群)		
[3] 全身性疾患による腎障害(糖尿病性腎症)		
[4] 泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石、尿路感染症) (B)		

(9) 妊娠分娩と生殖器疾患

[1] 妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥) (B)		
[2] 女性生殖器及びその関連疾患 (月経異常(無月経を含む)、不正性器出血、更年期障害、外陰・膣・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍)		
[3] 男性生殖器疾患(前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍) (B)		

(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患

[1] 視床下部・下垂体疾患(下垂体機能障害)		
[2] 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)		
[3] 副腎不全		
[4] 糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)(A)		
[5] 高脂血症(B)		
[6] 蛋白および核酸代謝異常(高尿酸血症)		

(11) 眼・視覚系疾患

[1] 屈折異常(近視、遠視、乱視)(B)		
[2] 角結膜炎(B)		
[3] 白内障(B)		
[4] 緑内障(B)		
[5] 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化		

(12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患

[1] 中耳炎(B)		
[2] 急性・慢性副鼻腔炎		
[3] アレルギー性鼻炎(B)		
[4] 扁桃の急性・慢性炎症性疾患		
[5] 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物		

(13) 精神・神経系疾患

[1] 症状精神病		
[2] 認知症(血管性認知症を含む)(A)		
[3] アルコール依存症		
[4] 気分障害(うつ病、躁うつ病を含む)(A)		
[5] 統合失調症(精神分裂病)(A)		
[6] 不安障害(パニック症候群)		
[7] 身体表現性障害、ストレス関連障害(B)		

(14) 感染症

[1] ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎)(B)	○	○
[2] 細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア)(B)	○	○
[3] 結核(B)	△	△
[4] 真菌感染症(カンジダ症)	○	○
[5] 性感染症	△	△
[6] 寄生虫疾患		

(15) 免疫・アレルギー疾患

[1] 全身性エリテマトーデスとその合併症	△	○
[2] 慢性関節リウマチ(B)		
[3] アレルギー疾患(B)	○	○

(16) 物理・化学的因子による疾患

[1] 中毒(アルコール、薬物)		
[2] アナフィラキシー	○	○
[3] 環境要因による疾患(熱中症、寒冷による障害)	△	△
[4] 熱傷(B)	○	○

(17) 小児疾患

[1] 小児けいれん性疾患(B)		
[2] 小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ)(B)	△	△
[3] 小児細菌感染症	△	△
[4] 小児喘息(B)		
[5] 先天性心疾患		

(18) 加齢と老化

[1] 高齢者の栄養摂取障害(B)		
[2] 老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)(B)	○	○